

11月4日(火)
雅楽演奏会

～優しい音色に聞き入る～
■朝日中学校

本物の雅楽を聞いてもらうことで、日本の伝統文化の良さを生徒たちに伝えようと、石川県神社庁神社振興部会の現役神職者(神主)5人によって演奏会が行われた。雅楽の楽器は、1000年前からほとんど形が変わっていないといい、生徒たちは、独特の優しい音色に聞き入っていた。

また、実際に笙などの楽器を演奏できる場面では、生徒たちは音を出そうと悪戦苦闘。コツを教えられ、音が出ると「出ましたー」と笑顔を見せていた。



11月13日(木)
本宮神社参拝

～一年間、健やかに過ごせるよう願いを込めて～
■本宮神社

本宮保育園の園児たちが、七五三の時期に合わせ隣接する本宮神社を参拝した。健やかな成長を祈願する毎年恒例の行事で、園児たちは、きちんと正座をしながら宮司の祝詞を聞き、その後、緊張しながら玉串を奉てんした。宮司であり、園長の櫻井定宗先生は「皆さんが、一年間健康に過ごせるように、神様にお参りしました」と園児たちへ伝えた。お祓いされ清められた千歳飴を受け取った園児たちは、喜びの表情を見せた。



11月20日(木)
認知症サポーター養成講座

～安心して暮らせるまちへ～
■石崎小学校

認知症サポーターは、その症状を正しく理解し、本人や家族を自分ができる範囲でサポートする人たちのこと。在宅支援サービスステーションさほらのケアマネージャーが講師を務め、5、6年生60人が講座に参加した。

自分の家族が認知症になったとき、どのように対応すればよいかなどを、寸劇やグループワークを通して学習。宮下歩土くんは「認知症の人の気持ちが理解できた。これから、困っている人がいれば助けたい」と話した。講座修了の証であるオレンジリングを手にした児童たち。新しく誕生した60人のサポーターが石崎地区を温かく見守っていく。



11月21日(金)
「菜の花米」給食試食会

～地域の皆さんと新米を味わう～
■高階小学校

菜の花を肥料に5、6年生13人が中心となり、地域の皆さんと協力して5月の田植えから9月の稲刈り、そしてはざきしまで行った「菜の花米」。その試食会が賑やかな雰囲気の中、全校児童と地域の皆さん一緒に行われた。今年は500平方メートルの田んぼを使い、約250キログラムの収穫があった。

自分たちが丹精込めて作ったお米に、児童たちは「いつも食べているお米より甘くておいしい。お米そのものの味がする」と炊きたての菜の花米をほおばり、笑顔を見せた。



11月16日(日)
市民文化祭inのとしま

～文化作品と舞台発表で賑わう～
■能登島生涯学習総合センター

今年のテーマは「等伯に寄す」と「能登島の里山里海」。七尾市文化協会に所属し、能登島で活動する人たちのテーマに沿った作品展示や保育園児、小学生らによる舞台などで会場は賑わいをみせた。屋外では、まきストーブを使った焼き芋も販売され、甘い香りに誘われた来場者は、能登島の秋の味覚を味わっていた。

また、市民文化祭では約5年ぶりの披露となる、能登島空手道場所所属の小中学生による演武が行われた。見る機会が少ない、空手のダイナミックな型や組手と、迫力ある声に会場は拍手に包まれていた。



11月18日(火)
100歳お誕生日

～おめでとーございます～
■西田正子さん
■あつとほーむ若葉

高校卒業後、東京で働き弟や妹のために仕送りをしてきた正子さん。俳句や茶道、お花などたくさん趣味を持ち、料理も得意。当時はとても珍しかったグラタンを、子どもたちにつけてくれたこともあったという。

誕生日会では、職員の方たちによる踊りや合唱、杏の会による七尾まだらが披露され、正子さんの誕生日会に花を添えた。2人の娘さんから花束がプレゼントされにつこりとほほ笑む場面もあった。これからも健やかに過ごしてください。



11月22日(土)
七尾市国際交流協会
15周年記念式典

～国際交流のさらなる広がりを目指して～
■番伊

国際交流イベントや姉妹都市との交流事業など、多くの団体と連携して活動してきた協会が今年で15周年を迎えた。式典を前に、「世界を知ること、日本を知ること」と題して、作家・エッセイストである神津カンナさんによる記念講演が行われた。

「異国の文化や生き方を知る。知った上で自分たちを振り返ってみる。それが、国際交流の第一歩」と、日々の暮らしの中でもできる国際交流を話した。これからは国際交流をより広め、親交を深める役割を担い、協会が20年、30年と続いていくことに期待したい。



11月30日(日)
ふるさと伝統芸能子ども発表会

～地域の伝統芸能を守り伝える～
■七尾サンライフプラザ

全小学校から児童450人が参加し、地域に伝わる太鼓や獅子舞などの伝統芸能、風習などの伝統文化を発表した。市民に広く地域の伝統芸能を伝えること、また、ふるさと七尾に誇りを持つってもらうことがねらいだ。児童たちは、総合学習やクラブ活動などで、地域の人たちから伝統芸能や伝統文化を教わり、大舞台で堂々と発表した。

最後には、平成27年4月から統合する北星小学校と東湊小学校の児童が「故郷」を合唱し、会場は今日一番の拍手に包まれた。

